

月日 (校時)	単元名	教材名
11月7日 (水) 3校時	物のとけ方	物が水にとけるとき
本時のねらい (1/15時間) ○食塩の溶け方に興味をもち、食塩の溶ける様子や食塩水の様子を進んで観察して、物が水に溶けることについて捉えることができる。		
評価規準 関食塩の溶け方に興味をもち、食塩の溶ける様子や食塩水の様子を進んで観察しようとしている。(発言・行動観察)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 問題提示 10:35	1 「物を水に溶かす経験」について知っていることを発表する。 ○物を水に溶かした経験はありますか？ ・紅茶に砂糖を溶かしたことがあります。 ・お味噌汁にみそを溶かしたことがあります。 ○実際に溶ける様子を詳しくみたことありますか？ ・溶ける時、物がすぐなくなるから見たことないかもしれない。 ・すぐに細かくなる場所は見たことあります。	・これまでの経験を想起させ、これから学習することに対し、発表を板書し価値づけをする。
【展開】 10:40 課題把握 ・シラバス ・言語わざ 問いの共有 10:42 観察方法 10:45 予想 観察・結果 ・班学習 11:00 全体学習 11:10 考察 11:15 まとめ	2 課題を把握する。 食塩を水につけて「溶ける」様子を観察し、気づいたことを話し合おう！ 【観察方法(5分)・予想(3分)・観察・結果(15分)・全体学習(5分)・考察(5分)・まとめ(3分)・振り返り(2分)】 「キーワードを使って自分の考えを書こう」 3 観察方法を確認する。 ① 食塩をティーバックの中に入れ、水につける。 ② 食塩が水の中でどのようなになるのかノートに書く。 4 予想を出し合う。 ○どのように溶けるとおもいますか？ ・すぐに食塩は消えると思います。 ・混ぜないから、食塩が下にたまってしまうと思います。 5 観察し、気づいたことをノートに書き班で考えを共有する。 ・水の中に、もやもやしたのが見える。 ・煙が発生したのかな？ 6 全体学習で、気づいたことを共有する。 ○観察・実験から気づいたことはありますか？ ・水の中に、もやもやしたのが見えました。 ・ティーバックの中の食塩が少なくなっていました。 7 観察・結果から「溶ける」について考察する。 ○実験の結果から溶けるとは、どういうことが考えられるでしょうか？ ・ティーバックの中の食塩が少なくなっていることから、食塩がとけてなくなることが「溶ける」ということです。 ・「溶ける」ということは、食塩の大きさが小さくなって見えなくなるということだと思えます。 8 まとめをする。 物が水に「溶ける」ということは、ものが小さくなり見えなくなり、水がすき通って見えるようになる。このように、物の形が水の中で見えなくなるほど小さくなって、液全体に広がることを物が水に「とける」という。	・キーワードとなる言葉「とける」「食塩の大きさ」「水の様子」のカードを提示し視覚的に意識させる。 ・食塩の粒が溶ける様子をノートに書くことを指示しておく。 ・食塩が全部溶けた後、ティーバックの中を確認させる。 ・各班に配られたホワイトボードに、一人1枚付箋を貼り考えを共有する。 関食塩の溶け方に興味をもち、食塩の溶ける様子を進んで観察しようとしている。(発言・行動観察) ・物が水に「溶ける」ということについて、キーワードの観点からまとめるように、指示をする。
【終末】 振り返り 11:20	9 振り返りを書く。	

